

天丸山ヒノキ・ハコネコメツツジ希少個体群保護林 希少-39

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 群馬森林管理署
所在地	群馬県 多野郡 上野村
面積	119.35ha
設定年	1977(S52)年
保護林の概要 (設定目的)	岩角地といった特殊な立地において、ヒノキを主体とした天然針葉樹林が形成され、学術上および森林施業上の考証として貴重である。また、天丸山山頂の岩角地にはハコネコメツツジの生育地があり、生態学的考証の場として学術上貴重である。このため、土地的極相林として成立しているヒノキ群落、ハコネコメツツジ群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、保護林内における代表的なヒノキ群落が形成されている林分において計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。また、ハコネコメツツジの生育する地点に、コードラートが1点設定されており、植生の種組成の概要を把握。
結果概要	前回の調査時と比較して林分全体が成長しており、保護対象種のヒノキは低齢～高齢級まで健全に生育している。ハコネコメツツジ群落では、ハコネコメツツジが健全に生育している。 保護林全体でニホンジカの影響は顕著であり植被率は低木・草本層ともに低いまま推移している。新たにクマ剥ぎの被害がヒノキの立木で確認されているため、周辺の被害状況や対策の実施状況を確認しつつ、モニタリングを継続していく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。